

PDF ファイル作成マニュアル

「日本観光研究学会全国大会学術論文集」及び「観光研究（特集号）」では投稿申込みされた PDF 原稿を科学技術振興機構（JST）が運営する科学技術情報発信・流通総合システム（以降、「J-STAGE」）に公開します。J-STAGE で公開される刊行物の記事本文 PDF ファイルの作成にあたっては、いずれの OS やブラウザ、PDF ビューアにおいても問題なく閲覧できること、セキュリティや高度な附加機能の利用の統一などが必要不可欠となってきます。本マニュアルは J-STAGE に掲載するにあたり、著者が論文を PDF 化する際の注意事項をまとめたものです。

I. 作成の流れ

1. Microsoft Word 等原稿を作成するソフトウェアを用いて原稿を作成してください。原稿は、「日本観光研究学会「観光研究」ならびに「日本観光研究学会全国大会学術論文集」執筆要項」に従い作成してください。なお、体裁の整った論文の作成のため「日本観光研究学会全国大会学術論文集」及び「観光研究（特集号）」投稿用論文フォーマットのご利用を推奨します。
2. 原稿を作成したら、Adobe Acrobat 等の PDF へ変換するためのソフトウェアを用いて出力の設定を行い、PDF に変換します。PDF 変換時の注意事項については、「II」以降をご参照ください。なお、「Microsoft Print to PDF」ではフォントの埋め込みなどの設定ができないなどの問題がありますので、利用を避けてください。また、MacOS 標準の「QuartsPDF Context」で変換された際に不具合が生じたケースがあることが報告されていますので、利用を避けてください。Adobe Acrobat や Microsoft Word の「エクスポート」機能を用いて PDF 変換をしてください。
3. PDF の作成が完了したら、Adobe Acrobat Reader 等の PDF ビューアで表示及び PDF のバージョン、フォントの埋め込みを確認すると同時に、紙面にも印刷して元原稿と比較し、異なっている点がないことを確認します。

II. 基本方針

1. PDF のバージョンは 1.3 以上 1.9 までとなります。現行（2020/10）J-STAGE では、「Acrobat X およびそれ以降」の場合、エラーが発生する事象があります。そのため、PDF の互換性バージョンは「Acrobat 9.0 もしくはそれ以前」とすることが推奨されています。
⇒PDF のバージョンの確認方法については III を参照してください。
2. 必要以上に PDF のファイルサイズが大きくならないように留意ください。目安は 1 記事あたり最大で 10MB 程度となります。画像が大きすぎる場合は、ファイルサイズに影響しますので、必要に応じて解像度を下げて、ファイルサイズを調整してください。
⇒画像作成時の注意事項については IV を参照してください。
3. ページ番号や文書作成者情報等を学会で挿入しますので、パスワード保護やセキュリティ設定は行わないでください。また、しおり、サムネール、および外部リンク（URL リンク）の設定は行わないでください。ただし、記事内リンクは差し支えありません。
⇒セキュリティの設定については V を参照してください。
4. 閲覧者の環境に左右されることなく表示されるように、機種依存文字、半角カタカナは使用しないでください。また、外字フォントの使用はできる限り避けてください。可能な限り使用しているフォントを全て埋め込むことを推

奨します。

⇒フォントについてはVIを参照してください。

III. PDF のバージョンの確認方法

PDF のバージョンは 1.3 以上 1.9 までとなります。PDF 変換時に指定をしてください。なお、Microsoft Word の「エクスポート」機能を利用する場合、PDF のバージョンは Microsoft Word のバージョンに依存します。PDF 変換後に Adobe Acrobat Reader 等のビューアを利用し、バージョンを確認してください。Edge では確認することができませんのでご注意ください。

Adobe Acrobat Reader で PDF のバージョンを確認する場合は、確認したい PDF のファイルを開き、「ファイル」メニューをクリックします。「文書のプロパティ」の「詳細情報」にある「PDF のバージョン」の項目が、PDF のバージョンを表しています。

IV. 画像作成時の注意事項

画像の解像度は 600dpi 以下を推奨します。また、解像度の高さと容量は小ささから「拡張メタファイル形式」で行うことを推奨します。

写真などの画像データの一部を隠す必要がある場合は、画像そのものを加工する、もしくは Adobe Acrobat の「墨消し」機能を用い情報を確実に削除してください。画像の上に黒い四角形等のオブジェクトを重ねただけでは、それが取り外されてしまう危険性があります。

V. セキュリティの設定

改ざんされたファイルが流通することを防止するために、学会側でセキュリティの設定を行います。そのため、ユーザパスワード（文書を開くパスワード）、マスターパスワード（権限とパスワードの変更に必要なパスワード）は設定しないようにしてください。学会側でマスターパスワードの設定を行います。「印刷」、「文章の変更」、「内容のコピーや抽出」、「注釈とフォームフィールドの追加と変更」等は許可してください。

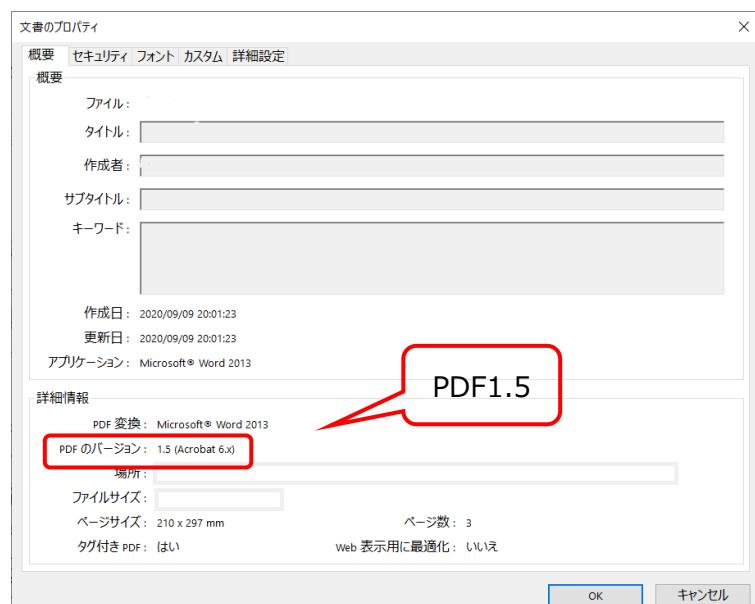


図 1 PDF のバージョンの確認方法

VI. フォントについて

a. 機種依存文字、半角カタカナ

閲覧者の環境に左右されることなく表示されるように、機種依存文字、半角カタカナは使用しないでください。機種依存文字とは、パソコンの種類や環境（OS）に依存し、異なる環境で表示させた場合に、文字化けを起こす可能がある文字です。代表的な機種依存文字を表1に示します。

表1 代表的な機種依存文字

囲み英数字	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)
ローマ英数字	I II III IV V VI VII VIII IX X i ii iii iv v vi vii viii ix x
年号	昭和 平成
囲み文字	上 下 左 右 中
省略文字	No. KK TEL (株) (有) (代) (社) (学) (財) (特) (株) (有) (学) (財) (医)
単位記号	mm cm km mg kg cc m ² ミリ キロ セン グラ トン アー ヘク リット ワツ カロ ドル セン ベード セント ページ
数学記号	= ≈ Σ ∫ ∈ ∋

b. 外字フォント

外字フォントの使用はできる限り避けてください。内容の都合上、外字フォントの使用がどうしても必要な場合は、ビットマップ画像データに変換して貼り込む、もしくはPDFへ外字フォントを埋め込む対応を行って下さい。なお、フォントライセンス設定によってはPDFへの埋め込みが禁止されていたり、フォントの使用許諾契約によっては、印刷物作成以外の目的での配布が禁じられている場合もあります。フォントのライセンスについては著者の確認義務事項となります。また、この場合はJ-stageにて全文検索ができないことがあります。

c. フォントの埋め込み

外字以外のフォントについても、埋め込みをすることを推奨します。Adobe Acrobatなどのpdfを作成するツールの多くには、フォントを埋め込むためのオプションが用意されていますので、それを利用して下さい。Microsoft Wordの「エクスポート」機能を利用する場合は、「オプション」設定の「PDFオプション」の「PDF/A準拠」にチェックを入れてから、PDF変換をして下さい。

フォントが正しく埋め込まれているかは、Adobe Acrobat Reader等で確認することができます。確認したいPDF

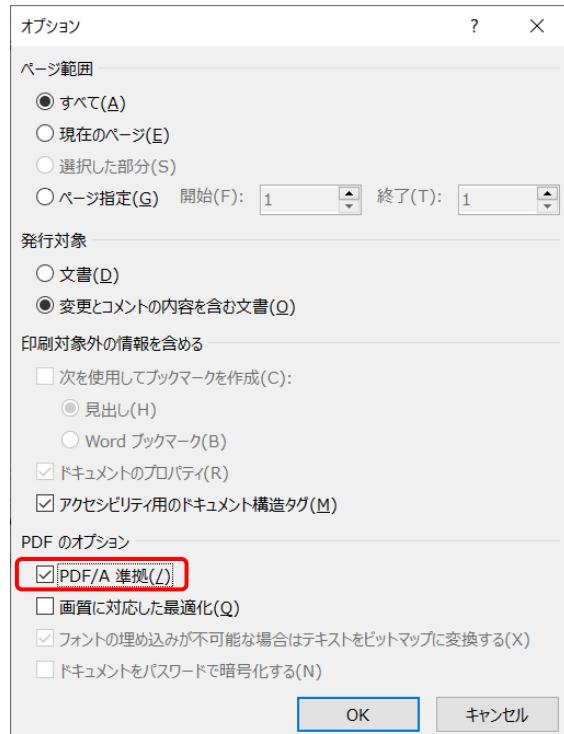


図2 Office2010以降でのオプション設定方法

のファイルを開き、「ファイル」メニューをクリックします。「文書のプロパティ」の「フォント」タブを選択します。利用されているフォント一覧が表示されます。このとき、「(埋め込み)」もしくは「(埋め込みサブセット)」と書かれているフォントは埋め込まれており、そう書いていないフォントは埋め込まれていません。

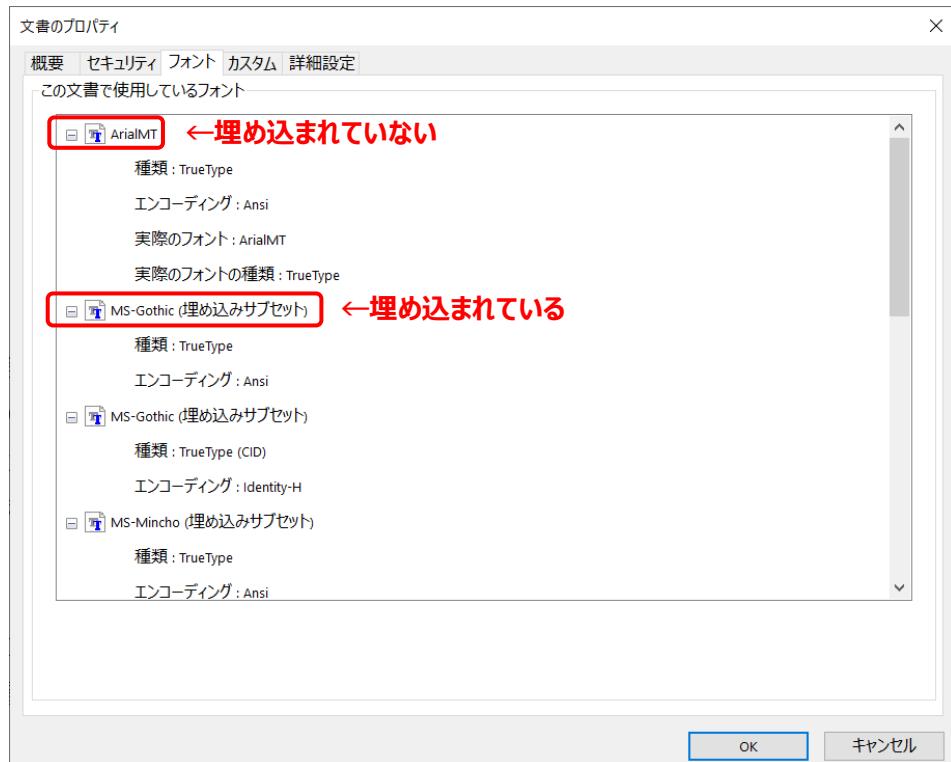


図 3 フォントの埋め込み状態の確認方法

以上

2021年2月5日 作成

2026年1月12日 改訂